

新学習システムの担当になったら

○学校組織内の位置付け、所属をはっきりさせる。

EX. 2年の新学習システム

○仕事内容を明確にする。

- ・少人数指導・複数指導・特別な配慮が必要な児童の支援？・副担任？
- ・仕事内容を文書化して、全員に配布する必要がある。
- ・文書化した内容と実際に行う内容が変わった場合は、文書化した内容を変更して、再配布すること。もちろん、部会を開いて、部内で検討して変更を行う。
- ・ある程度臨機応変に対応しなければいけないが、「べんりや」になってはいけない。

○毎日仕事内容を記録した日誌を作成する。

- ・○月○日の△時間目に何をしていたか具体的にわかるように記述すること。時間的経過にしたがって記述してもよい。

○教育技術の向上に努力する。

- ・学級を持たないから子どもたちに直接関わらないので、学級経営については、学習できないが、教育技術については、学習できる。教育技術の向上に努力することは、今後の教育活動に大きくプラスになると考える。

Ex. 理科実験の技術・社会の資料の収集

生徒指導・地域理解

学習園、飼育舎等学習環境の整備

教育機器の使用技術

教材研究（少人数指導で「算数」等指導する場合など）

研究会等積極的に参加して多くの授業を参観する。

神小研等研究会に所属して研修する。

小学校において、学級を持たないのはさみしい。

自分の居場所もないような気になる。

何で私だけが！という気になる。

しかし、特殊な立場だからこそできることがある。